

第26回 全国街路事業コンクール

# 国土交通大臣賞

## 奈良県 県土マネジメント部 まちづくり推進局 地域デザイン推進課 JR奈良駅付近連続立体交差事業

都 市 名	奈良県 奈良市	事業 主体	奈良県
<b>事業 概要</b>			
奈良県奈良市は、JR奈良駅を中心に関西線、桜井線により中心市街地が東西に分断され、駅周辺では、踏切による慢性的な交通渋滞の発生や踏切事故が懸念され、健全で活力ある都市の発展が妨げられていた。また、奈良は日本の歴史や文化伝統など国際的にも著名な観光地であり、魅力溢れる都市づくりが強く求められていた。			
本事業は、これらの課題を解決するため、連続立体交差事業として、奈良駅付近を鉄道高架化させることで、駅周辺の交通渋滞や踏切事故を解消し、交通の円滑化や安全を確保するとともに、分断された市街地を一体化させ、地域の活性化の促進に寄与するものである。			
駅周辺では、奈良市による土地区画整理事業や民間による再開発事業が積極的に行われ、古都・奈良の観光地に相応しい魅力あるまちづくりが進められている。			
○事業延長：約3.5km	○事業費：約495億円	○事業期間：平成9年度～平成24年度	
○事業規模：鉄道高架化L=3.5km（関西線2.2km、桜井線1.3km）、踏切の除却数6箇所、跨線橋の撤去数3箇所			
<b>表彰理由</b>			
本事業は、日常生活での混雑をはじめ、多数来訪する観光客の拠点となる駅を中心とした厳しい条件下で事業を行い、慢性的な渋滞や踏切事故を解消するとともに、分断された市街地を一体化させ、地域の活性化を促進させたことが高く評価された。			
また、地元の見解を取り入れ、歴史ある旧駅舎を観光案内所として再利用している点や、駅利用者の利便性を高め、日本を代表する古都の玄関口として相応しい風格ある整備を行ったことが、魅力あるまちづくりに寄与していることなど、総合的な事業効果の高さが賞賛された。			

